



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社プラコー 上場取引所 東  
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒澤 秀男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部部长 (氏名) 山崎 正彦 (TEL) 048-798-0222  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	644	△3.8	12	△21.7	13	△24.1	6	△86.3
29年3月期第1四半期	669	38.0	15	—	18	—	49	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第1四半期	0.26		—					
29年3月期第1四半期	1.82		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,326	676	29.1
29年3月期	2,554	689	27.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 676百万円 29年3月期 689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,911	13.4	140	20.6	133	7.6	96	△39.0	3.56
通期	3,749	1.5	223	△15.2	209	△21.0	150	△42.4	5.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期1Q	27,152,585株	29年3月期	27,152,585株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年3月期1Q	937,303株	29年3月期	726,303株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期1Q	26,214,875株	29年3月期1Q	27,099,641株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は「株式給付信託（従業員持株会処分型）」制度を導入しております。信託E口が所有する当社株式（29年3月期 673,000株、30年3月期1Q 884,000株）を期末自己株式数に含めております。また、信託E口が所有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式（30年3月期1Q 884,407株）に含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6
3. 補足事項 .....	7
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調であるものの、米国の政権運営や欧州の政治情勢、また、アジアにおける地政学的リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続いております。

当社の関係するプラスチック加工業界は、主要フィルムメーカーの経営統合等の積極的な動きがあり、今後益々競争力が問われる業界に進んでいく状況にあり、当社としてもより一層差別化した高付加価値の製品を提案して行く方向にあります。

このような状況下、営業面では、インフレーション成形機事業においては、海外向けも含め汎用機や部品の受注が順調に推移しました。ブロー成形機事業においては、自動車部品用を中心に受注活動に注力いたしました。また、生産面では、海外外注生産の改善活動を推進させるとともに、国内仕入先と協力して生産性や品質の向上に努めました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、予定されていた一部の成形機の売上計上が、納入検収時期の変更により第2四半期会計期間以降の計上予定となったこともあり、6億4千4百万円と前年同四半期と比べ2千5百万円減少(前年同四半期比3.8%減)いたしました。利益面につきましては、前事業年度より継続的に効果の出ている仕入コスト、外注加工費の低減により、営業利益は1千2百万円(前年同四半期は営業利益1千5百万円)、経常利益は1千3百万円(前年同四半期は経常利益1千8百万円)、四半期純利益は6百万円(前年同四半期は四半期純利益4千9百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期累計期間における総資産は、前事業年度末と比較して2億2千7百万円減少し、23億2千6百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億6千2百万円、売掛金が2億8千6百万円減少した一方で、たな卸資産が3億4千万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前事業年度末と比較して2億1千5百万円減少し、16億4千9百万円となりました。これは主に借入金が6千万円、前受金が4千1百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、前事業年度末と比較して1千2百万円減少し、6億7千6百万円となりました。これは主に前事業年度における従業員株式所有制度の導入により自己株式が1千8百万円増加(純資産の減少)したことによるものです。なお、平成29年6月28日開催の定時株主総会において資本金の額の減少及び剰余金の処分についての決議を行い、平成29年8月1日付でその効力が発生しておりますが、これは貸借対照表における「純資産の部」の勘定科目の振替処理であり、当社の純資産額に変動はありません。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	634,581	371,658
受取手形及び売掛金	950,424	662,568
たな卸資産	161,518	502,079
その他	89,620	81,127
貸倒引当金	△285	△301
流動資産合計	1,835,859	1,617,132
固定資産		
有形固定資産		
土地	463,119	463,119
その他(純額)	160,356	154,404
有形固定資産合計	623,475	617,523
無形固定資産	20,133	18,547
投資その他の資産		
その他	85,950	84,539
貸倒引当金	△13,260	△13,260
投資その他の資産合計	72,690	71,279
固定資産合計	716,300	707,350
繰延資産	2,550	2,442
資産合計	2,554,709	2,326,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	606,148	570,246
短期借入金	191,841	178,008
前受金	231,187	189,548
未払法人税等	42,182	1,658
製品保証引当金	31,276	30,790
引当金	27,536	8,414
その他	141,278	127,523
流動負債合計	1,271,450	1,106,189
固定負債		
社債	142,800	142,800
長期借入金	329,744	283,566
引当金	19,125	19,770
その他	101,970	97,602
固定負債合計	593,639	543,739
負債合計	1,865,089	1,649,929

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△823,320	△816,587
自己株式	△73,945	△92,925
株主資本合計	567,066	554,820
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,328	951
土地再評価差額金	121,224	121,224
評価・換算差額等合計	122,552	122,175
純資産合計	689,619	676,996
負債純資産合計	2,554,709	2,326,925

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	669,816	644,427
売上原価	448,364	453,940
売上総利益	221,451	190,487
販売費及び一般管理費	205,805	178,239
営業利益	15,646	12,248
営業外収益		
物品売却益	507	563
為替差益	2,314	-
受取地代家賃	1,980	2,430
受取保証料	-	1,023
その他	293	979
営業外収益合計	5,094	4,996
営業外費用		
支払利息	1,948	969
為替差損	-	1,743
その他	700	803
営業外費用合計	2,648	3,516
経常利益	18,092	13,728
税引前四半期純利益	18,092	13,728
法人税、住民税及び事業税	1,465	102
法人税等調整額	△32,672	6,891
法人税等合計	△31,207	6,994
四半期純利益	49,299	6,733

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はプラスチック成形機事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

平成29年6月28日開催の第57期定時株主総会において、資本金の額の減少及び剰余金の処分についての決議を行い、承認可決され、平成29年8月1日付でその効力が発生しております。

1. 資本金の額の減少及び剰余金の処分の目的

現在、生じている繰越利益剰余金の欠損填補により財務体質を健全化し、今後の機動的かつ柔軟な資本政策を可能にするとともに、株主の皆様への早期復配の実現を可能にする体制を構築し、株主共同の利益を確保することを目的としております。

2. 資本金の額の減少の内容

会社法447条第1項の規定に基づき資本金の額を減少し、これらをその他資本剰余金に振り替えるものであります。

(1) 減少する資本金の額

資本金の額1,332,945,556円のうち823,320,810円を減少して、509,624,746円といたします。

(2) 資本金の額の減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額のみを減少いたします。

3. 剰余金の処分内容

会社法第452条の規定に基づき、資本金額の減少の効力発生を条件として、資本金の額の減少により生じるその他資本剰余金823,320,810円全額を減少して、繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当いたします。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 823,320,810円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 823,320,810円

4. その他の重要な事項

本件は、貸借対照表における「純資産の部」の勘定科目の振替処理であり、当社の純資産額に変動はなく、業績に与える影響はございません。



## 3. 補足事項

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	271,686	8.0
ブロー成形機事業	276,837	775.6
リサイクル装置事業	-	△100.0
合 計	548,523	91.9

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	400,990	△38.2	760,770	△25.8
ブロー成形機事業	183,666	29.1	584,281	△23.2
リサイクル装置事業	-	△100.0	-	△100.0
合 計	584,656	△27.1	1,345,051	△25.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 3 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	232,707	△6.4
ブロー成形機事業	265,521	△14.5
リサイクル装置事業	-	△100.0
メンテナンス事業	146,198	35.1
合 計	644,427	△3.8

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。